

「AMH 高値症例における治療成績の検討」

1. 研究の背景と目的

抗ミュラー管ホルモン (AMH) 値は、前胞状卵胞、小胞状卵胞の数を反映し、卵巢予備能の評価に有用であると報告されています。AMH 値が低い場合は採卵数が減少し、AMH 値が高い場合には卵巢過剰刺激症候群 (OHSS) のリスクがあると報告されています。OHSS は不妊治療における卵巢刺激に伴う合併症であり、卵巢腫大や腹水貯留、血液濃縮を生じ、重症例では、血栓症や肺水腫等を生じる可能性があります。

このように AMH 高値の方の不妊治療に関しては、重大な合併症を生じる可能性があり、今後 AMH 高値の不妊患者さんを治療していく上で、その経過を把握しておくことは重要と考えられます。そこで、当院における AMH 高値症例の臨床経過について検討を行うことを計画しています。

2. 研究対象者

2014 年 1 月 1 日から 2018 年 8 月 31 日の間に、山口県立総合医療センターで不妊治療を行った方のうち、AMH 値が同院全体の 75 パーセント以上以上の患者さんです。

3. 研究デザイン

不妊治療成績、周産期予後等について、診療録を用いて後方視的に検討します。

4. この研究に参加することの利益・不利益

本研究は既存情報を用いた研究であり、直接的な利益は生じません。しかし、研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。不利益に関しては、研究対象者に対して介入を伴うことがないため不利益は生じません。個人が特定されることのないよう情報の取り扱いに配慮して行います。

5. 同意と拒否

本研究の実施についての情報を山口県立総合医療センターのホームページに公開することにより、直接の説明や同意をいただく手続きに代えさせていただきます。対象者に含まれていると考えられ、本研究に同意いただけない方は担当者まで御連絡ください。

6. 担当者

施設名：山口県立総合医療センター（代表：0835-22-4411）

責任者：産婦人科部長 三輪照未